

重要な生態系の現況評価及び課題の整理

重要な生態系						調査年度	スコアによる現況判定					判定 (特記事項・調査時意見)	課題 (劣化・消失・変質の要因) ※4つの危機+野生動物						課題	特記事項	スコア合計得点						スポットの扱い	調査時の意見 (抜粋)
スポット№	名称	スポット所在地	小生系の種類	ゾーン	エリア		維持	おおむね維持	変質	劣化	消失		現況	開発改変	管理不足	外来生物	気候変動	野生生物			その他	2000年	2011年	2011年ランク	2018-24年	スコア増減		
21	満内ため池	大原野中部	ため池			2019		○			おおむね維持								7	7	C	7	0	C		ミナミメダカ、シロマダラを確認している。大きな変化はない様子。		
22	今西ため池群	大原野東部	ため池		愛宕池上流	2019		○			おおむね維持								10	10	B	10	0	B		貴重な成育植物は現存。大きな変化はない。人手が入り、スイレンやニシキゴイが放流されており自然度は評価しにくい。 農作業の手入れが過度な人為的な攪乱となっている。オオカワジシャ、アメリカザリガニなどが侵入してきている		
23		長谷	ため池		猿山川右岸	2024				○	劣化						○	管理不足	10	10	B	9	-1	C		動物の貴重種は未確認 一番大きなため池(愛宕池)は改修され利用されている。周辺のため池は管理もされている池もあるが、山に近いところは放置されている。しかし、放置されている池にはサイゴクヒメコウホネやヤマトミクリがあり、貴重なものがのこっている。動物はタガメをはじめ貴重種は未確認である。手入れされていない池などが多数あるので、今後貴重な池の環境が心配される。		
24	まむし谷下池	大原野西部	ため池	波豆川流域	マムシ谷	2019	○				維持								8	8	C	9	1	C		ため池の使用放棄により自然度が高まった(←このように見えるのは一時的と言え、今後の管理が懸念される。)		
25	まむし谷上池	大原野西部	ため池	波豆川流域	マムシ谷	2019		○			おおむね維持								8	8	C	8	0	C		ヤマトミクリ、ジュンサイ群落は確認できなかった		
26	ため池	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域		2021	○				維持								8	8	C	12	4	A		2011調査は池の水を干していたか？水生生物の種類も多く貴重種も見られる。多様性のある里地里山として貴重。		
27	ため池その周辺	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域		2021	○				維持								8	8	C	10	2	B		水源としての利用度は少なくなっており里地里山の管理が心配される。里地のため池として景観として保全が必要。		
28	ため池	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域		2021	○				維持								7	7	C	10	3	B		高齢化のため、池の管理が心配される。		
29	ため池群	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域	下佐曽利・谷	2021	○				維持								10	10	B	11	1	B		ため池群として十分な管理がされていない。陸化、土手の崩落が危惧される。貴重種がのこっており保全の必要性がある。		
30	ため池	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域	下佐曽利・谷	2021		○			おおむね維持								7	7	C	7	0	C		進入路がわからないほど人が何年も入っていない。しかしモリアオガエルが産卵する水量は確保されている。		
31	ため池群	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域	下佐曽利・谷	2021	○				維持								7	7	C	7	0	C		池の表面積は大きいので明るい里山のため池。モリアオガエルが見られるため水量は安定している。		
32	ため池その周辺	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域	下佐曽利・谷	2021	○				維持								7	7	C	10	3	B		谷筋の山間をせき止めた谷池。水生植物が多く育成し自然度が高い。里山のため池としては明るい。細長い形状で多様性が期待される。		
33	ため池	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域		2021				○	消失						○	管理不足	7	7	C	5	-2	ランク外	【2024年度 消滅のためランク外(今後調査よりはまず)】	遷移が進み消滅。コウホネが残っているためスポットを要するかなにかに追加するか考える必要あり		
34	ため池	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域		2021	○				維持								7	7	C	11	4	B		管理されている。多様性に富み多くの水生生物(貴重種)も多い。		
35	ため池	下佐曽利	ため池	佐曽利川流域		2021				○	劣化						○	管理不足	7	7	C	5	-2	D		放置され一部遷移が進んでいる。池に光が入らないため池もあれている。種の多様性は低い。		
36	ため池	上佐曽利	ため池	佐曽利川流域		2021				○	消失						○	管理不足	7	7	C	5	-2	ランク外	【2024年度 消失のためランク外(今後調査よりはまず)】	土手が崩れ、土砂の堆積によって、かすかに痕跡が残るのみ。土手が崩れる=長い間人手が入っていない?池はなくなっている。		
37	妙見山神社ため池	長谷	ため池			2021				○	変質						○	管理不足	7	7	C	9	2	C		干上がって湿地状態になっている。「樋が割れて干上がっている」→管理不足		
38	いや谷池	長谷	ため池			2021				○	劣化						○	その他	9	9	C	8	-1	C		水生生物は確認できない。「谷池」。水源として活用されている。		
39	小畑池	長谷	ため池			2021				○	劣化						○	管理不足	9	9	C	7	-2	C		水源として利用されているが、人の手はあまり入っていない		
40	長谷大池	長谷	ため池			2021	○				維持								8	8	C	9	1	C		田の水源として利用されている。よく管理されている。水面はヒシなど水生生物が覆う。		
41	ため池	長谷	ため池			2021	○				維持								7	7	C	9	2	C		人の手はあまり入っていない。希少種(ムカシヤンマ、モリアオガエル等)あり		
42	ため池	長谷	ため池			2021	○				維持								7	7	C	10	3	B		絶滅危惧種が生息するが、人の手が入っていないため、この状態がいつまで続くか心配される。		
43	松尾湿原	大原野西部	湿原	波豆川流域	宝塚市立自然の家	2019	○				維持								10	10	B	12	2	A		ボランティア団体による整備管理がされている。団体管理のモデルケース。広報活動も積極的。「自然の家」と合わせて新スポット「宝塚自然の家」と変更するのが適当。		
44	猪倉谷湿原	大原野西部	ため池	波豆川流域	猪倉谷	2019	○				維持								9	8	C	10	2	B		農道の管理、草刈がされ管理が行き届いている。		
46	皇大神社	御殿山	社寺林			2023				○	劣化						○	その他	9	9	C	8	-1	C		調査期日において動物、大型の昆虫などは取見することができなかった。周辺の宅地開発進んで、鎮守の森として管理されている。		
47	売布神社など	売布山手町	社寺林			2023		○			おおむね維持								10	10	B	9	-1	C		コジイ群落は市天然記念物、県RED Cランク、自然環境保全地区。売布神社社叢林としてよく手入れされている。調査では動物は見られず(-1)、断崖地形の評価(+1)により合計得点±0		

重要な生態系の現況評価及び課題の整理

重要な生態系				ゾーン	エリア	調査年度	スコアによる現況判定					判定 (特記事項・調査時意見)	課題 (劣化・消失・変質の要因) ※4つの危機+野生動物						課題	特記事項	スコア合計得点						スポットの扱い	調査時の意見 (抜粋)				
スポット№	名称	スポット所在地	小生態系の種類				維持	おおむね維持	変質	劣化	消失		現況	開発改変	管理不足	外来生物	気候変動	野生生物			その他	2000年	2011年	2011年ラック	2018-24年	スコア増減			合計得点によるラック			
67	保与谷池湿原	大原野中部	湿原			2023		○																								公園内の敷地として管理されており、湿地の植物もよく保存されている。湿地の周辺も公園管理としてよく手が入っているため、湿地の状態もよい。
68	まむし谷湿原	大原野西部	湿原	波豆川流域	マムシ谷	2019	○																								ナラ枯れ、ニホンジカの分布拡大など保全対策が望まれる。湿原の再生(保全)が望まれる。	
69		清荒神	社寺林	長尾山系山麓部		2024		○																							境内のコジイの林は神域として保護され、立ち入りを禁止している。コジイの森はよく管理されている。	
70		清荒神	社寺林			2024									○																植生の評価は過去3となっており、貴重種が存在していたと思われるが、なにかあったのか確認することはできなかった。道を挟んで、竹林と雑木林の私有地とおもわれるところもぼっさいがすみ、境内そのものの敷地がわずかに管理され、大きな変化はみられない。初夏から秋にかけて見てきたが、目立つものは確認することができなかった。	
71		下佐曹利	ため池	佐曹利川流域		2024		○																							前回は位置不明(消失の可能性)となっており、地元の下佐曹利の場所でもコウホネが成育できそうな場所としてここでは想定した。2枚のため池は農業用ため池として利用されており、周辺は下草伐打ちなど管理されている。上のため池はスレンがあり、周辺のため池とどうように管理され、スレンからその時代の名残りが感じられた。	
72		川面	孤立二次林			2024		○																							荒神川周辺も宅地化がすすみ、調査地も7割が宅地となっている。河川の周りに緑地のこころがわずかである。本来の群落はけずられてなくなっている。	
75		伊子志	社寺林	六甲山系山麓部	塩尾寺	2024		○																							六甲山系の東の入り口にある塩尾寺。ウラボシに囲まれた境内、住職によるとウラボシの実が落ちる時期はあられ落ちてきたすこい音が聴くと聞いた。照葉樹林の森として大きな変化は見られない。	
77		山本東	社寺林			2024		○																								特別緑地保全地区。自然環境保全地区(指定番号第33号)。境内はよく管理され、地域の祭場となっている。社寺林は、コジイ、アラカシなどの照葉樹林となっている。イチイガシは参道入り口にあり、高木として保護されている。
78		山本西	社寺林			2024		○																								境内は管理され社寺林も大きな変化はない様子。社寺林の北には緑地が残っており、社寺林の環境を良いものになっている。毎年催事がおこなわれ、境内はよく管理されている。周辺は宅地に隣接しているため、隣接部は枝の剪定などが行われている。
79		中山寺	社寺林	長尾山系山麓部	北中山公園	2024									○																	奥の院の社殿は新たに建て替えられており、そのため社殿裏は樹木が整理されていた。また、また松枯れなど倒木が目立ち荒れた感じがした。奥の院はハイキングコースになっており、季節を問わず多くのハイカーや参拝者が訪れる。コジイ群落は健全である。動物は野鳥の渡り観察できる場所の一つであるが、猛禽類は観察できなかった。
80	惣川	川面・切畑	河川			2023		○																								山間の小河川であり、河川両脇はゴルフ場や採石場などであるが、人為的な改変が行われておらず、大きな変化はみられない。上流部でも耕地改善の工事がはじまっており、上流部でみつけた多くのミズカマキリは貴重であり、工事のあとどのように生き残れるのか心配される。
81		蔵入	河川			2024		○																								ゴルフ場敷地内の区間であり、施設内の河川として管理されており、敷地内下部は川底の下草も定期的に刈り取られる。上部は堆積物を含め、手はあまり入っていないため、ツルヨシ、セイタカアワダチソクなどが生い茂っている。ゴルフ場の敷地内のため立ち入り不可となっている。
82	弁天池	仁川北	ため池			2023		○																								自然度は高くないが、市街地のため池として、環境的景観的に重要な池となっている。弁天池に流れ込む小仁川にはホテルがあり、地域住民によって保全されている。

重要な生態系の現況評価及び課題の整理

重要な生態系				ゾーン	エリア	調査年度	スコアによる現況判定					判定 (特記事項・調査時意見)	課題 (劣化・消失・変質の要因) ※4つの危機+野生動物						課題	特記事項	スコア合計得点						スポットの扱い	調査時の意見 (抜粋)	
スポット№	名称	スポット所在地	小生圏の種類				維持	おおむね維持	変質	劣化	消失		現況	開発改変	管理不足	外来生物	気候変動	野生生物			その他	2000年	2011年	2011年ランク	2018-24年	スコア増減			合計得点によるランク
83	伊和志津神社	伊子志	社寺林			2023		○													7	7	C	7	0	C		境内の下を横切る道路によって、境内の緑地は保全され、保護樹林として保護されている。	
85	素戔鳴神社	高司	社寺林			2023		○													7	7	C	7	0	C		境内は管理され大きな変化はない	
86	住吉神社	安倉中	社寺林			2023		○													8	8	C	8	0	C		境内は管理され、社寺林も大きな変化はない。	
87	八王子神社	中筋	社寺林			2023		○													7	7	C	7	0	C		境内は管理され社寺林も大きな変化はない	
88	八幡神社	中筋	社寺林			2023		○													7	7	C	7	0	C		震災によって建物は新しく建てられたが、境内は管理され社寺林も大きな変化はない	
89	波豆川	大原野西部	河川	波豆川流域		2022	○														8	8	C	9	1	C		土手の改修があった。川底の整地などが行われた以外は自然状態としてよく残っている。ゴキツルが見つかったので評価を上げた。	
90	佐曾利川支流	上佐曾利	河川	佐曾利川流域		2022		○													7	7	C	7	0	C		U字溝であるが、水生生物の確認ができ大きな変化はない様子。ドンコ、カワヨシノボリ、ヌマエビがこのような場所でも見られた。	
91		長谷	ため池			2024				○											8	8	C	5	-3	ランク外	【2024年度 消滅のためランク外 (今後調査よりははずす)】	水域が消失している池は土手の一部がのこっており確認できた。池ではなく、マダケなどが生え、陸化している。聞き取りによると2つため池があったが北側の斜面が崩れ一つの池が埋まり、今回の調査地の池もその時に池の役割をなくしたとのこと。低木が元池の底まではびこっており池の役割はない。調査項目のため池としての価値はなく手入れもされていない。イノシシ、シカよけの柵の周りに新たに作られており、利用されず藪になっている。	
92	玉瀬川	玉瀬	河川			2022				○											7	7	C	7	0	C		河川の8割近くが3面張りとなっており、公民館付近の50mほどのみツルヨシ群落である自然状態が残っている状況である。それに伴い、河川の側道も整理され、バイオニアの植物が目立つ。	
93	普明寺 竹藪など	波豆	社寺林	千刈貯水池		2019		○													7	7	C	7	0	C		手入れが行き届いていないので、生物多様性の保全対策が望まれる。モリアオガエルやヒメボタルなど希少種あり	
94		東洋・小浜など	河川			2024				○											11	11	B	10	-1	B		市域を代表する景勝地の一つ。武庫川東洋町付近の左岸にはカワサイコが保護団体によりよく保存されており、多くの株がみられる。定期的に草刈りなどの手入れがされており、カワサイコにとってもよい環境になっている。逆瀬川との合流地点ではアサギマダラの定点観測地となっている	
95		口谷西	社寺林			2024				○											7	7	C	6	-1	D		周辺の宅地開発により、神社の緑地が減少している。参拝路が一カ所にかぎられ、緑地がへり、乾燥化がすすんでいる。ヒメボタルの幼虫がたべるキセルガイなどが今回見つけることができなかった。	
96		中山寺	社寺林			2024				○											7	7	C	5	-1	D		地域の祭りが残っている。境内は管理され、社寺林は剪定され、すっきりしすぎている。	
97	妙玄寺	中筋	社寺林			2023		○													7	7	C	7	0	C		境内は管理され、堰や寄り洲なども小規模ながら存在し、市街地に残る環境要素として重要。水路にブルーギル、ミシシッピアカミミガメ	
98	小浜皇大神社	小浜	社寺林			2023		○													7	7	C	7	0	C		境内ではムクノキ、イヌマキ、クスノキ、ケヤキなど管理されている。川沿いの斜面ではケヤキの巨木があり、地域でよく管理されている。	
99	川面神社	宮の町	社寺林			2023		○													7	7	C	8	1	C		境内は、保護樹林に指定されており、自然環境は良好である。境内はよく管理されている。	
100	熊野神社	仁川台	社寺林			2023				○											8	8	C	7	-1	C		境内は管理され社寺林も大きな変化はない様子。調査日には昆虫など見つけることができなかった	
101		波豆	ため池			2024				○											7	7	C	6	-1	D		池は過去に農業用水として利用されていたようだが、現在はなくなっている。放棄された池となっている。	
102		境野	放棄水田			2024				○											7	7	C	6	0	D		陸化し下草が生え水田跡にはサクラバハンノキやハンノキなどの高木がはえる。本来は、谷筋に流れていた水路がうまり、元水田あとの中央を横切ったりと、流れが不安定になりイノシシのぬた場になっていた。モリアオガエルの卵は道を挟んだため池に見られたが、水田跡には水がたまる場所がないので卵はなかった。	

重要な生態系の現況評価及び課題の整理

重要な生態系				ゾーン	エリア	調査年度	スコアによる現況判定					判定 (特記事項・調査時意見)	課題 (劣化・消失・変質の要因) ※4つの危機+野生動物						課題	特記事項	スコア合計得点						スポットの扱い	調査時の意見 (抜粋)							
スポット№	名称	スポット所在地	小生態系の種類				維持	おおむね維持	変質	劣化	消失		現況	開発改変	管理不足	外来生物	気候変動	野生生物			その他	2000年	2011年	2011年ランク	2018-24年	スコア増減			合計得点によるランク						
103	放棄水田	玉瀬	放棄水田			2022				○	消失												○	開発改変	水田の区画整理、水路の整備により、環境が激変した。放棄水田は埋め立てられ、従来の生物相が変化したため、動物評価は「2」総合評価は、「D」とした。イノシシ、シカ(聞き取り)の出現記述あり	7	7	C	5	-2	ランク外	【2024年度 消失のためランク外(今後調査よりはらず)】	放棄水田はなくなり、水田耕作地となり、畦なども新たに整理されたため、本来の環境にもどるには時間が必要である。放棄水田は埋め立てられ、従来の生物相が変わってしまったようだ。そのため、動物は「3」から「2」に評価した。		
104	川下川	玉瀬	河川	川下川流域		2022		○			おおむね維持															11	11	B	11	0	B		玉瀬地区から近い川筋では、水の匂いが強く感じ、水生生物が少ない。下流にすすみ、枝川からの流入によって生物の多様性がみられた。とくに、丸山湿原からの水質は良好で、清流の生き物を見ることができた。今回も同様に良好な河川環境が維持されている。		
105	坊川	切畑	河川			2022					劣化												○	開発改変	新名神の工事のため風景の評価を「1」とした。河川の半分が改修、土手も改修されるが、半分以上が元の状態なので時間とともに復元の見込みあり	9	9	C	8	-1	C		新名神の工事に伴い、泉道の付け替えにより、河川も半分ほどが改修、土手も改修されている。斜面が工事によって削られた部分もあるが、半分以上がもとのままのこっており、時間とともに生物環境が元に戻る可能性があると思われる。景観は、新名神の工事のため「2」から「1」に評価した。		
108	立合新田川	立合新田	河川	立合新田川流域		2022	○				維持															8	8	C	8	0	C		自然環境は良好に保たれている。水田でイノシシ被害		
109		切畑	孤立二次林			2024		○			おおむね維持															8	8	C	8	0	C		五月台小学校は2022年に中山板台小学校と統合され、当地は閉校、管理地となっている。元学校林は、長尾連山の東部に位置し、現在もコミュニティが月一回の管理をおこなっている。校地をとりまく山林は一部ののぞき、山の植生をそのまま残しており、近年は松枯れがすすんでいるのが心配される		
111		すみれが丘	孤立二次林			2024	○				維持															7	7	C	8	1	C		市街地に残存する林、全体的に荒廃傾向がみられる。市街地の残存緑地として、重要度は高い。地盤が花崗岩であるため、栄養分が少ない大地で、平坦部はスキの草原となっており、周辺はマツとコシダが優先する		
112		御殿山	孤立二次林			2024					○	消失												○	開発改変	<u>新たにグラウンドが設置されたため植生はなくなってしまっている</u>	8	8	C	5	-3	ランク外	【2024年度 消滅のためランク外(今後調査よりはらず)】	市街地に残存する林、林縁は藪となっているが、大きな変化はない様子一すべて宅地となってしまっている	
113		川面	社寺林			2024		○			おおむね維持															7	7	C	7	0	C		(2011年調査時の)ミヤマアカネは未確認 手塚ファンがよく訪れる神社になり、看板など環境が整備されるようになった。南の田畑も耕作地として残り、狭いながらも昆虫が集まる樹木も残っている。		
114		米谷・小浜	河川			2024		○			おおむね維持															7	7	C	7	0	C		場所は、小浜の宿場町の街道が大堀川にかかる橋周辺の河畔林。河岸は古い粗石護岸、斜面は崩落が心配される。イワシ坂周辺から上流100mほどはムクノキエノキ群集となっている。		
115		社町	社寺林			2024		○			おおむね維持															7	7	C	7	0	C		境内はよく管理されている。過去にいろいろな植栽もされ、従来からのアベマキなどの樹林とけこみ、社寺林としてよく管理保存されている。		
116	武庫川右岸	長寿ヶ丘	岩角地			2023		○			おおむね維持															8	8	C	8	0	C		私有地があり近くまでいけないものの、岩場などの小さな滝など特徴的な環境には大きな変化はない様子		
118	塩谷川左岸	月見山	河川			2023					劣化												○	開発改変	宅地開発に伴い武庫川合流地点は大きく改変されており、かつての植物は消失している。	7	7	C	6	-1	D		3面護岸の河川であるが寄り洲や抽水植物の生育状況には大きな変化はない様子一宅地開発に伴い武庫川合流地点は大きく改変されており、かつての植物は消失している。		
119	内畑緑地	野上・蔵人	孤立二次林	六甲山系山麓部		2023		○			おおむね維持															7	7	C	7	0	C		緑地内に1992年から蜜の里「ピカピカランド」の蜜の保護施設がある。地域住民や小学校で保護活動が行われている。緑地前の逆瀬川の川原においても、在来種の保全と外来種の撤去など自然保護活動が盛んにおこなわれている。公園として管理され生育環境も維持されている		
120		千種	孤立二次林			2024		○			維持															7	7	C	9	2	C		学校敷地内の樹林として管理されている		
121	上の池(旧名称ため池)	波豆	ため池	波豆川流域		2018					劣化														○	外来生物	外来種生物が繁殖しているため、水生生物相が貧困になっている。	8	8	C	6	-2	D		スポット名称変更 ため池⇒上の池
122	宝山寺	大原野中部	社寺林	波豆川流域		2019		○			維持															10	10	B	11	1	B		社寺林も大きな変化はない様子。2018に大風で杉の太木が倒壊した。		
123	ため池および畦	香合新田	ため池	佐曹利川流域		2022		○			おおむね維持															8	8	C	7	-1	C		ため池の改修、耕地改善は行われたが、時間経過とともに景観は落ち着いてきたが、時間経過とともに落ち着いた景観にもなっている。		

重要な生態系の現況評価及び課題の整理

重要な生態系					調査年度	スコアによる現況判定					判定 (特記事項・調査時意見)	課題 (劣化・消失・変質の要因) ※4つの危機+野生動物						課題	特記事項	スコア合計得点						スポットの扱い	調査時の意見 (抜粋)		
スポット№	名称	スポット所在地	小生態系の種類	ゾーン		エリア	維持	おおむね維持	変質	劣化		消失	現況	開発改変	管理不足	外来生物	気候変動			野生生物	その他	2000年	2011年	2011年ランク	2018-24年			スコア増減	合計得点によるランク
124	佐曾利川沢沿い	香合新田	河川	佐曾利川流域					○		劣化	○				△		開発改変	「動物」においては、特に貴重種が確認できなかったので「2」とした。佐曾利川沢沿いは数年前に砂防工事とため池堤の工事により三面張りとなった。イノシシ、シカ (聞き取り)	8	8	C	7	-1	C	佐曾利川周辺は耕地と里山のこり、生活の場として北摂地域に特徴的な景観は保たれている。「動物」においては特に貴重種が確認できなかったので「2」とした。			
125	やまもり山里	大原野東部	ため池			2019	○				変質	○						管理不足	ため池は消失しているが、元水田には豊富で多種多様な湿地性植物群がある。絶滅危惧種も多く見つかると貴重な湿地である。湿原・湿地に遷移した元棚田を新たに指定することを勧める。	7	7	C	10	3	B	ため池は消失している。元水田には多種多様な湿地性植物群がある。絶滅危惧種も多く見つかると貴重な湿地である。湿原・湿地に遷移した元棚田を新たに指定することを勧める。			
126	羽束川	波豆	河川	波豆川流域		2018	○				維持								抽水植物や寄り洲など、水際は一部自然状態であり、オオサンショウウオの生息域でもあり、重要な生態系である。	11	11	B	12	1	A	(総合評価) 抽水植物や寄り洲など、水際は一部自然状態、オオサンショウウオの生息域でもあり、重要な生態系である。 (調査結果及び概要) 外来のアレチウリ群落は不明。次回、抽水植物や寄り洲の状況を精査したい。今後の調査ではがけ崩れの事前まで(危険)の調査のみにすべきだ。			
128	普明寺 ため池	波豆	ため池	千刈野水池		2019	○				維持								2011年に確認されていたヒツジグサージュンサイ群落は消滅している。「ブルーギル、ブラックバス、アメリカザリガニ、ウシガエルなど外来種が侵入している」→外来生物	7	7	C	8	1	C	外来種の侵入が著しい。サワガニ、ヒメボタルの生息を確認しているため評価は前回同様。 指定当時の希少種モリアオガエルが広く生息していたので取り立てて指定すべき小生態系とは言えない。№93の一部としての扱いが妥当。			
129	下林ため池	大原野東部	ため池			2019					劣化		○					管理不足	2000年のヒメビシ群落は確認できなかった。水質は比較的良好であるが、大きな変化はない様子。スポット対象からの除外について要検討。「ため池は放棄されており」→管理不足	8	8	C	6	-2	D	スポット対象から除外について要検討			
130	愛宕上池	大原野東部	ため池			2019	○				維持								ウシガエル、ブルーギルなどの侵入あり	7	7	C	8	1	C	上の池は希少種が豊か。最上流部の池には土砂が流れ込み陸地化の恐れがある。			
131	下林ため池	大原野東部	ため池			2019					劣化			○				外来生物	ヒメビシ群落は確認できなかった。富栄養化していると考えられる。将来はスポットとしての調査対象が適当かどうか検討を要する。「投げ入れられたのかフナ、アメリカザリガニが観察された」→外来生物	7	7	C	5	-2	D	ヒメビシの群落の確認できず。サイコクコウホネが見られた。富栄養化していると考えられる。将来はスポットとしての調査対象が適当かどうか検討を要する。			
132	波豆川 橋〜清の瀬橋	大原野西部	河川	波豆川流域		2018	○				維持								オオサンショウウオの生息地であるが、ミシシippアカミミガメなどの外来種の投入がある	10	10	B	11	1	B	(総合評価) 西部河畔植生や寄り洲など、水際は自然状態である。オオサンショウウオの生息域であり重要			
133	ため池	玉瀬	ため池			2022		○			おおむね維持								ため池周辺は過度に管理され、水質は比較的良好	7	7	C	7	0	C	周辺は耕作地がスギの植林地となり、池周辺は過度に手が入り管理されており、水質は比較的良好に保たれている。			
134	足洗川	中山寺	河川	長尾山系山麓部	北中山公園	2023		○			おおむね維持								大きな変化はない様子	11	11	B	11	0	B	山間の小河川であり大きな変化はない様子			
135		(宝塚市域)	六甲山地			2024		○			おおむね維持								県ROBに選定される環境であり、市域を代表する生態系の一つ	-	11	B	11	0	B	県ROBに選定される環境であり、市域を代表する生態系の一つ			
136		中筋山手	孤立二次林			2024													地元の団体により管理されるまちな山として貴重	-	-	D	6	-	D	地元の団体により、よく管理されている。まちな山として貴重である。			
137		切畑長尾山	孤立二次林			2024													地元の団体により管理されゴルフ場から里山として復元され、貴重な生きものが戻ってきている	-	-	D	10	-	B	地元の団体に管理されている。ゴルフ場から里山として復元され、貴重な生きものが戻ってきている。「都市緑地」公園となっている。里山としての保全活動が、ボランティアによって行われている。散策、森林浴、野鳥観察など市民がよく利用している。			
138		中山台	孤立二次林			2024													地元の団体により管理されるまちな山。	-	-	D	6	-	D	ヤシャブシが伐採されて良好な里山林を維持している。地元団体によって「まちな山」として管理されている。			
139		小林宇西山	孤立二次林			2024													地元の団体により管理されている	-	-	D	6	-	D	地元団体によって管理されており、樹木にプレートをつけ、市民に親しまれる環境作りが行われている。住宅地に隣接する貴重な緑地帯である。			

重要な生態系の現況評価及び課題の整理

重要な生態系				ゾーン	エリア	調査年度	スコアによる現況判定					判定（特記事項・調査時意見）	課題（劣化・消失・変質の要因）※4つの危機+野生動物						課題	特記事項	スコア合計得点					スポットの扱い	調査時の意見（抜粋）
スポットNo	名称	スポット所在地	小生態系の種類				維持	おおむね維持	変質	劣化	消失		現況	開発改変	管理不足	外来生物	気候変動	野生生物			その他	2000年	2011年	2011年ランク	2018-24年		
140		伊子志宇武庫山	孤立二次林			2024													D	11	-	B		地元団体によって管理されており、樹木にプレートをつけ、市民に親しまれる環境作りが行われている。湧水の場所には何枚かの池があり、モリアオガエルなどが生息するなど、住宅地に隣接する貴重な緑地帯である			